

(案)

公的年金財政状況報告

—平成22年度—

社会保障審議会年金数理部会

社会保障審議会 年金数理部会

部会長	山崎 泰彦	神奈川県立保健福祉大学名誉教授
部会長代理	宮武 剛	目白大学教授
委員	牛丸 聡	早稲田大学政治経済学術院教授
委員	翁 百合	(株)日本総合研究所理事
委員	駒村 康平	慶應義塾大学経済学部教授
委員	佐々木 政治	(社)日本年金数理人会理事長
委員	田中 周二	日本大学文理学部教授
委員	野上 憲一	ハノーバー・ライフ・リー日本代表
委員	林 勲	(社)日本アクチュアリー会顧問

目 次

はじめに	1
第1章 公的年金の概要	3
1 公的年金とは	3
2 体系（国民年金と被用者年金との関係）	3
3 公的年金制度の一元化	4
第2章 財政状況	5
1 財政収支の現状及び推移	5
平成 22 年度の財政収支状況の概況/平成 22 年度の単年度収支状況/保険料収入/ 国庫・公経済負担/追加費用/運用収入/運用利回り/給付費/運用損益分を除いた 単年度収支残/積立金/基礎年金制度の実績(確定値ベース)	
2 被保険者の現状及び推移	25
被保険者数/年齢/男女構成/1人当たり標準報酬額（月額）/標準報酬総額	
3 受給権者の現状及び推移	32
受給権者数/年金種別別にみた状況/年金総額/年齢・退年相当の受給権者	
4 財政指標の現状及び推移	49
年金扶養比率/総合費用率/独自給付費用率、基礎年金費用率/ 保険料比率及び収支比率/積立比率	
参考1 財政指標の定義及び意味	60
参考2 詳細統計表	65
第3章 平成 21 年財政検証・財政再計算結果との比較	80
1 積立金の実績と将来見通しとの乖離の分析	80
積立金の実績と将来見通しの乖離/運用利回りの実績と将来見通しの乖離/ 平成 22 年度末積立金の乖離分析の方法/乖離分析の結果/「実質」でみた財政状況	
2 財政指標の実績と将来見通しの比較	92
年金扶養比率/総合費用率、独自給付費用率/保険料比率/積立比率	

参考 1	財政計画と比較する際の留意点	100
参考 2	平成 22 年度末の積立金の実績と平成 21 年財政検証・財政再計算における将来見通しとの乖離の要因分解について	102
参考 3	平成 22 年度における実質ベースの将来見通しの推計値の補正について	106
参考 4	年金給付費に対する賃金上昇率、物価上昇率の影響について(考察)	107
第 4 章	特別分析 ―10 年間の変化とコーホート分析―	111
1	過去のデータとの比較分析 ―2000～2010 年度の 10 年間の変化	111
	被保険者の状況の変化/受給権者の状況の変化/年度末積立金の変化	
2	コーホート分析	121
	コーホート分析について/年度別の被保険者のコーホート増減率(同一年齢時の動向の年度間比較)/出生年度コーホート別の被保険者のコーホート増減率(各コーホートの平成 15 年度末から平成 22 年度末までの動向)/コーホート増減率に基づく定常状態の被保険者分布	
参考	分析のイメージ	135
付属資料		137
	・ 公的年金制度の沿革	138
	・ 長期時系列表	141
	・ 最近の経済等の状況	164
	・ 用語解説	165

参考資料

平成 22 年度財政状況報告（制度所管省報告内容）

- ・ 厚生年金保険
- ・ 国家公務員共済組合
- ・ 地方公務員共済組合
- ・ 私立学校教職員共済制度
- ・ 国民年金（基礎年金）